



香月小ホームページでも御覧いただけます

## いつもより少し短い夏休みを迎えるにあたって

例年より10日ほど遅い1学期の終業式の日を迎えました。振り返ると、昨年度末から新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、わたしたちの生活に大きな影響を与えてきました。年明けの1月早々に、中国の湖北省武漢市で原因不明のウイルス性肺炎の発症が相次いでいることが報道されました。それは過去に流行したSARSやMERsとも異なる「新型」ではないかという見方がありましたが、わたしたち日本人には対岸の火事といった受け取られ方が大半であったように思います。

しかし、1月14日には世界保健機関（WHO）が、新型コロナウイルスの検出を発表し、16日には厚生労働省が国内で初の感染者が確認されたことを発表しました。その後、タイや韓国、香港、アメリカ、フランス、オーストラリア、マレーシアとこの半年間で感染は爆発的に拡大し、昨日（30日）現在で、世界中で1,681万人が感染し66万人が死亡、国内に於いても33,049人が感染しすでに1,004人の方々が亡くなりました。

この感染症の拡大を防止するために、東京オリンピックや「かごしま国体・かごしま大会（障害者スポーツ大会）」の延期をはじめ、予定していた多くのイベントやスポーツ大会等が中止や延期となりました。相次ぐ臨時休校や行事・教育活動等の中止や延期など子供たちの学校生活にも大きな影響を及ぼしています。

そのような混乱する状況の中、子供たちが自他の健康、安全を大事に考え、感染症防止対策に懸命に取り組みながら今日の日を迎えることができたことをたいへんうれしく思います。志布志市においては、幾分、落ち着きを取り戻してきていますが、全国的には、一日当たりの新規感染者が、過去最高を更新していたり鹿児島県内では離島でのクラスターの発生をはじめ、毎日のように新規感染者が出ていたりする状況にもあります。明日から夏休みに入りますが、明日からも、朝の検温やマスクの着用、空気の入換えや手指消毒の徹底をはじめ、「3密」を避けるなどの感染防止対策を十分にとりながら、健康で楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。普段の夏休みと比べると旅行や外出を自粛しなければならない場面も増えてくると思いますが、その分、家での生活を充実させ、1学期の学習の復習や絵画などの作品作りや観察等にしっかり取り組んでほしいと思います。

保護者の皆様方にも様々な形でお願い事の多い1学期でしたが、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。



## 1学期の評価について

今日は、子供たちが通知表を持ち帰ります。よく頑張ったその成果が表れていることにつきましては、おおいに褒めてあげてください。そして、夏休みや2学期以降にさらに努力することについては、家庭でもよく話し合い、本人の意志を大切にしながら家族もそれを応援するというスタンスで励ましてあげてください。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、歌唱指導や楽器の演奏、家庭科の調理実習等、予定していた学習が履修できていない内容があります。それらにつきましては、今後、状況を見ながら学習する予定ですが、現時点で評価ができない項目があるため、学年によっては「斜線」になっているところがありますので御了承いただきたいと存じます。



## 令和2年度運動会の実施について

夏休みが明けると、運動会の練習が本格的に始まります。新型コロナウイルス感染症の拡大防止との関連で、どのようにして実施すべきかについて検討してまいりました。そして、現段階で、次のような骨子案を考えています。感染症の状況によっては変更する場合があります。

### 1 基本方針

- (1) 子供たちにとって年間を通じて最も大きな行事の一つである運動会を、感染症拡大防止対策とのバランスを考慮し、可能な限り「目標」達成できるよう感染症対策を講じながら実施する。
- (2) 実施時間を極力短縮し、「3密」を避け「熱中症」を防止する手立てを工夫し実施する。

### 2 具体策

- (1) 入場行進、外部種目、表現運動等を割愛し、午前中開催（8：30～11：30）とし、昼食時間を設けない。
- (2) 密にならないよう児童用テントを通常の2倍使用するため、集落テントを含み校庭へのテントの持ち込みを行わない。休憩用に必要がある場合は、PTA駐車場をテントスペースに開放する。
- (3) 蜜を避けるため、児童は編成所での編成を行わず、応援テントから直接、競技の待機場所へ移動する。
- (4) 保護者は、木陰を十分活用し密にならないよう待機し、自分の子供の競技時に応援場所へ移動するようお願いいたします。木陰には給水所を設けます。個人用に椅子の持ち込みは自由とします。待機場所には、体育館も開放いたします。
- (5) 児童は、テントではマスク着用を原則とし、給水を十分行うよう指導する。



